

「文化多様性を促進するドイツ・ベルリンの文化政策とアートシーンに関する研修」

ドイツ・ベルリン海外研修プログラム

【テーマと目標】

文化多様性を保障・促進するドイツの文化政策とアートシーンについて分野横断的に研修を実施し、日本においても応用可能な地域主権時代の文化政策を構想することが、本プログラムのテーマである。また、先端的な文化政策の実践によって個性を発揮している都市間・地域間をネットワークし、まずはグローバルな課題をローカルな視点で共通認識したい。そしてグローカルな社会問題の解決を目指し、文化政策の立場から国境を超えて行動できる人材を育成することが、本プログラムの目標である。

【期待される効果・学習目標】

協定先であるベルリン自由大学美術文化史学部の教職員とその施設使用の協力を得て、神戸大学生とベルリン自由大学生との合同ゼミや講義、国立博物館や州立歌劇場、ベルリン音楽祭や街中で展開されているアートプロジェクトなどのフィールドワークを実施する。また、ドレスデン音楽大学の協力を得て、ドイツ屈指の芸術都市ドレスデンへのエクスカージョンも予定している。これによって異文化理解と文化多様性の促進による共生の方法を学び、グローバルなコミュニケーション能力を高めることが、期待される効果と学習目標である。

【日程】

2017年9月6日から16日。

渡航計画は以下の日程の前後に、各自の研究計画を加えて決定する。事前学習時にベルリン滞在前後の研修計画の可能性などについてもアドバイスする。

コア研修期間の11日間は全員がベルリンに滞在していること。

事前に講義と演習、帰国後には報告書の執筆を行なう。成果報告会も予定している。

【担当（企画・指導・引率）教員】

藤野一夫（国際文化学研究科） FUJINO@KOBE-U.AC.JP（研究室：E320）

【募集人数】

10名

【経費関係】

基準を満たした場合には選考により JASSO(8万円)からの奨学金が支給される+自費負担。航空券、宿泊先（ホステル等）は各自で確保すること。

長期留学前に参加することも可能だが、参加者多数の場合は本プログラムのみの参加者を優先する場合がある。また、留学期間が重ならないこと、2017年前期に在学することなどが条件となる。

※履修登録は、参加者決定後に教務学生係が行います。

【研修先での使用言語】

ドイツ語もしくは英語

【準備と流れ--(1)については学生自身で行う】

(1) 生活面

- 航空券の手配、宿の手配
- 留学生危機管理サービス（OSSMA）説明会参加、海外旅行保険加入

(2) 学習面

- 事前講義への参加、課題、研究発表の準備
- 参加学生は、ベルリン自由大学との合同ゼミで学部生10分、院生20分程度のプレゼンを行なう。テーマについては事前講義時に相談して決定。プレゼンはドイツ語または英語、質疑は日本語を交えることもある。
- 帰国後に報告書を提出

【プログラム】〔予定、今後若干の変更があります〕

ベルリン自由大学でのオリエンテーション（藤野）

9月7日にベルリン日独センターで開催する無形文化遺産に関する日独シンポジウムへの参加

フンボルトフォーラム（新博物館計画）についての講義（ベルクマン先生）

博物館島 MUSEUMSINSEL 見学 夜は適宜、オペラ、演劇、コンサート

文化フォーラム（国立絵画館等）KULTURFORUM 見学

ダーレム国立博物館 MUSEUM DAHLEM 見学（ホフマン主任学芸員によるガイド）

ベルリン自由大学での合同ワークショップ

【今後の予定】

（募集） 平成29年5月1日～5月30日

（選考） 6月上旬 面接を予定

6月上旬： 参加者決定

【単位について】

国際文化学部・国際文化学研究科の学生へ

本海外研修は、国際文化学部・国際文化学研究科の授業の一貫として行います。国際文化学部・国際文化学研究科の海外研修の修了者には1単位が付与されます。研修参加決定者の履修登録は、鶴甲第一キャンパス事

務課教務学生係（国際文化学研究科教務学生係）にて行います。

なお、本海外研修の履修は CAP に含まれません。

国際人間科学部 1 年生へ

フィールドワーク実習として本海外研修への参加は可能ですが、実践型 GS コースは 2 年次より対象となるため、GSP の単位とすることはできません。

単位認定申請を希望する学生は、学生便覧の「神戸大学国際人間科学部フィールドワーク実習に関する内規」を参照のうえ、海外研修終了後 1 ヶ月以内を目処に、必要書類を鶴甲第一キャンパス事務課教務学生係へ提出してください。

なお、本海外研修の履修は CAP に含まれません。

【奨学金について】

成績等、以下支給対象者の条件を満たす場合、JASSO 海外留学奨学金（8 万円）が支給されます。（別途申請要。希望者多数の場合、書類選考があります。）

奨学金支給対象者：

- ・日本国籍を有する者又は日本へ永住が許可されている者
- ・経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者
- ・前年度の成績が JASSO の定める成績評価係数 3.00 満点のうち 2.30 以上である者（※下記別表参照）
- ・経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者

※JASSO 成績評価係数の算出方法について

JASSO 成績評価係数は神戸大学 GPA の算出方法とは異なります。以下表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式にあてはめて算出してください。

成績評価基準					
神戸大学成績評価	秀	優	良	可	不可
JASSO 成績評価ポイント (P)	3	3	2	1	0

計算式

$$\frac{(\text{「評価 P3 の単位数」} \times 3) + (\text{「評価 P2 の単位数」} \times 2) + (\text{「評価 P1 の単位数」} \times 1) + (\text{「評価 P0 の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

総登録単位数

【応募方法】

「参加申込書」をホームページからダウンロードし、「申込要領」を熟読の上、電子ファイルと紙媒体の両方で提出してください。